マ　ラ　リ　ア

- 毎年世界中で約2億5千万人の患者が発生し、80万人以上の死者がいると報告されています。
- 我が国では、海外で感染して帰国される方（輸入症例）が毎年50人以上報告されています。

〇発生地域：
アジア、中南米、アフリカなど熱帯・亜熱帯地域に広く分布。

〇感染経路：
マラリア原虫を保有した蚊（ハマダラカ）に吸血された際に感染する。ハマダラカは、夕方から夜間に出没する傾向がある。都市部での感染リスクは、アフリカやインド亜大陸を除き減っている。

〇主な症状：
マラリア原虫の種類により7日以上の潜伏期ののち、寒け、発熱、息苦しさ、結膜充血、嘔吐、頭痛、筋肉痛など。迅速かつ適切に対処しなければ重症化し、死亡する危険がある。

〇感染予防：
長袖、長ズボンを着用し、素足でのサンダル履き等は避ける。虫よけローションや蚊帳等の使用により蚊に刺されないように注意する。特に、夜間の屋外での飲食や外出時に注意する。2週間以上流行地に滞在し、野外作業等に従事する場合は、抗マラリア薬の予防内服を行うことが望ましいとされている。

海外では、動物と距離をとろう。

Please Keep Your Distance

※もっと詳しく知りたい方は
FORTH/厚生労働省検疫所「マラリア」
→http://www.forth.go.jp/useful/malaria.html
国立感染症研究所感染症情報センター「疾患別情報：マラリア」
→http://idsc.nih.go.jp/disease/malaria/index.html